

長 崎 県 地 学 会 誌

第 **55** 号

1993

目 次

口 絵

雲仙・普賢岳火山活動—1992—..... 清水 洋… i

総 説

火砕流と火砕流堆積物..... 阪口 和則… 1

海外報告

アラスカ・オーロラ紀行..... 松本 直弥… 8

日曜地質巡検会記事

川棚町大崎半島の地質..... 阪口 和則・川原 和博…14

資 料

雲仙・普賢岳噴火活動年表(1) (1990年7月—1992年3月) 鎌田 泰彦 (編) …18

平成4年度研究発表会講演要旨..... 25

抄 録

N E S A Abstract No.107—112 29

長崎県地学会記会記事..... 長崎県地学会記会記事..... 31

平成3年度会務報告..... 31

平成3年度一般・特別会計決算報告..... 32

会員の動静..... 33

平成5年3月
長 崎 県 地 学 会

長崎県地学会 平成4年度総会・研究発表会

日時：平成4年6月28日（日）10：15～16：40

会場：長崎大学教育部11番教室

総会司会（午前の部）：小田忠昭（長崎商業高）

開会のことば……………石川直衛（長崎総合科学大・附属高）

会長講演

長崎県の天然記念物（地質・鉱物）の現状と将来……………鎌田泰彦（長崎大学名誉教授）

研究発表（午前の部）

座長：田島俊彦（桜馬場中）・平湯政敏（長崎西高）

1. 佐世保炭田夾炭層中の菱鉄鉱……………鮎川潤（福岡大・理）
2. 長崎大学所蔵波佐見金山金鉱石……………武内浩一（長崎県窯業試験場）
3. 川棚町高見岳凝灰角礫岩の火砕流堆積物について
○阪口和則（大村高）・高嶺忠彦（大村市）・古川俊太郎（福岡市）
4. 長崎市帆場岳付近の溶岩とそれに関連する岩脈群……………布袋厚（大浦診療所）
5. 蛇紋岩メランジュ中の流体移動と交代作用 —野母半島木場海岸の曹長石の例—
佐藤直子・○西山忠男・柳哮（九州大・理）

総会司会（午後の部）：西村暉希（長崎北高）

特別講演

北西部九州の西南日本地体構造の諸問題

西南大学教授・理学博士 唐木田芳文先生

[講師紹介 鎌田泰彦（長崎県地学会会長）]

長崎県地学会平成4年度総会

議長 松本直弥（藤永地建）

研究発表（午後の部）

座長：松尾司（長崎北陽台高）・平湯政敏（長崎西高）

6. アラスカ・オーロラ紀行……………松本直弥（藤永地建）
 7. 福原学園における気象観測 —1989～1991年—
○應地幹子（九州女子短大）・竹下壽（九州女子短大）
 8. 地形立体模型の製作とそのすすめ……………川原和博（長崎南高）
 9. 雲仙普賢岳1991年6月の噴火による火山灰、軽石、火山礫について
○近藤寛（長崎大・教育）・松岡藪充（長崎大・教養）
 10. 1990～92年雲仙普賢岳の火山活動について……………寺井邦久（島原高）
- 閉会のことば……………栄岩吉郎（佐世保実業高）

【懇親会】17：00～19：00 会場「平和軒」（長崎市住吉） 会費6,000円